

令和7年度

「運営に関する計画」
(中間振り返り)



いまみや小中一貫校
大阪市立今宮学校・大阪市立新今宮小学校
令和7年9月30日

いまみや小中一貫校 大阪市立新今宮小学校・大阪市立今宮中学校
令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

平成 27 年 4 月に 3 小学校と 1 中学校の統合を行い、大阪市で三番目の施設一体型小中一貫校として開校し 11 年目を迎える。開校当初の様々な課題を教職員が協力して解決しながら小中一貫教育を推進してきた。今後もその特長を継続・発展させていくためのさらなる工夫が必要である。

本校は、西成区北東部にあり、社会的な課題に直面している地域にある。経済状況の悪化や家庭背景により、生活が厳しい子ども達も多いが、その中にあって、子ども達は逞しく生きている。家庭においては、「生活していくこと」を重視せざるを得ず、学習を最優先にする家庭が多いと言える状況にはない。それらの理由などにより、基本的な生活習慣が身についていない子どもや様々な社会経験・体験が乏しい子どもが多い。また、校区外からの転入する児童生徒や外国籍の児童生徒の転入も多く、保護者と連絡が取りにくい家庭や通訳者を必要とする家庭との連携にも課題を抱えている。

施設一体型小中一貫校としての特長を最大限発揮できる状況を創り、子ども達に生きること、学ぶこと、体験することを十分に保障することが本校の当面の課題である。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○毎年度末の校内調査において、不登校児童生徒の割合を、毎年、前年度よりも減少させる。

(令和 3 度 5.3% 令和 4 年度 7.5%)

○令和 7 年度の児童生徒アンケート「自分にはよいところはあると 思いますか」の項目について、肯定的に答える児童生徒の割合を、令和 4 年度よりそれぞれ 5 % 増加させる。

(令和 4 年度 小学校 87% 中学校 77%)

○毎年度の児童生徒アンケート「将来の夢や目標を持っていますか」の項目について、肯定的に答える児童生徒の割合を、前年度より増加させる。(令和 4 年度の自校アンケートは無いが、全国学力・学習状況調査の結果：小学校 6 年 73%、中学校 3 年 70%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和 7 年度の全国学力・学習状況調査における、「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1 日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の項目について、「全くしない」と答える児童・生徒の割合を小中学校とも 10% 以下にする

(令和 4 年度 小学校 22% 中学校 19%)

○令和 7 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、半数の項目で全国平均を上回る。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度の児童生徒アンケート「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える割合を小学校 75%、中学校 75%以上とする。
(令和4年度 小学校 56% 中学校 57%)
- 令和7年度において、ゆとりの日については週1回以上設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は4日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては3日以上設定する。
(令和4年度 ゆとりの日週1回 学校閉庁日夏季3日 夏季以外1日)
- 令和7年度の児童生徒アンケートで「読書は好きですか」の項目について肯定的に答える児童生徒の割合を小学校 80%、中学校 60%以上とする。
(令和4年度 小学校 82% 中学校 54%)
- 令和7年度の保護者アンケート「学校は、教育方針や学校の様子をわかりやすく伝えている」の項目について、肯定的に答える保護者の割合 95%以上とする。
(令和4年度 91%)

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度末の校内調査において、不登校児童生徒の割合を、前年度よりも減少させる。
(令和6年度 6.0%)
- 令和7年度の児童生徒アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童・生徒の割合を小学校93%、中学校94%以上にする。
(令和6年度 小学校92.1% 中学校93.2%)
- 令和7年度の児童生徒アンケートにおける「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、小学校82%、中学校84%以上とする。
(令和6年度 小学校81.6% 中学校83.3%)
- 令和7年度の児童生徒アンケートにおける「将来の夢や目標を持ってていますか」に対して、肯定的に答える児童生徒の割合を、小学生83%、中学生78%以上とする。
(令和6年度のアンケートは無いが、全国学力・学習状況調査の結果は令和6年度小学校6年生が82.1%、中学校3年生が77.1%)
- 小中合同行事を年間15回以上行い、小中学校の連携強化を図り、令和7年度の児童生徒アンケート「いろいろな学年と交流するのは楽しい」の項目について、肯定的に答える児童生徒の割合を、小学校86%、中学校88%以上とする。
(令和6年度 小学校85.7% 中学校87.7%)

また、相互授業参観や研修など小中学校教職員の交流も活発化させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の児童生徒アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的な「思う」と答える児童・生徒の割合を小学校90%、中学校93%以上にする。
(令和6年度 小学校89.8% 中学校92.4%)
- 小学校学力経年調査・中学生チャレンジテストにおける国語および算数・数学の平均正答率の対全国比・対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
(令和6年度
 - 国語 小学校4年生 0.86 小学校5年生 0.86 小学校6年生 0.76
 - 算数 小学校4年生 0.96 小学校5年生 0.89 小学校6年生 0.88
 - 国語 中学校1年生 0.86 中学校2年生 0.88
 - 数学 中学校1年生 1.02 中学校2年生 1.01)

- 令和7年度の児童生徒アンケートにおける「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と答える児童・生徒の割合を小学校75%、中学校59%以上にする。(令和6年度 小学校74.0% 中学校58.84%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上とする。(令和6年度 小学校0.6%中学校2.3% ※委員会が3月に出す資料より)
- 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1（時間外勤務が1か月45時間を超えない）を満たす教職員の割合を小学校80%、中学校44%以上とする。(令和6年度 小学校79.2%、中学校43.3%)
- 令和7年度の保護者アンケート「学校は、教育方針や学校の様子をわかりやすく伝えている」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を95%以上とする。(令和6年度 94.4%)

3 本年度の自己評価結果の総括

いまみや小中一貫校 大阪市立新今宮小学校・大阪市立今宮中学校
令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○令和7度末の校内調査において、不登校児童生徒の割合を、前年度よりも減少させる。 (令和6年度 6.0%)</p> <p>○令和7年度の児童生徒アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童・生徒の割合を小学校93%、中学校94%以上にする。 (令和6年度 小学校92.1% 中学校93.2%)</p> <p>○令和7年度の児童生徒アンケートにおける「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、小学校82%、中学校84%以上とする。 (令和6年度 小学校81.6% 中学校83.3%)</p> <p>○令和7年度の児童生徒アンケートにおける「将来の夢や目標を持っていますか」に対して、肯定的に答える児童生徒の割合を、小学生83%、中学生78%以上とする。 (令和6年度のアンケートは無いが、全国学力・学習状況調査の結果は令和6年度小学校6年生が82.1%、中学校3年生が77.1%)</p> <p>○小中合同行事を年間15回以上行い、小中学校の連携強化を図り、令和7年度の児童生徒アンケート「いろいろな学年と交流するのは楽しい」の項目について、肯定的に答える児童生徒の割合を、小学校86%、中学校88%以上とする。 (令和6年度 小学校85.7% 中学校87.7%)</p> <p>また、相互授業参観や研修など小中学校教職員の交流も活発化させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>長期欠席児童生徒（欠席日数30日以上）について調査を行い、状況を把握し、児童生徒への教育相談など日常の生活状況も踏まえた取組みを実施する。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月、全校児童生徒のスクリーニングシートを作成し、個別の状況については、教育支援シート、生活支援シートなどを作成する。 ・定期的また必要に応じて教育相談を実施し、継続して児童生徒の心のケアに努める。 ・校内全体で、年間10回児童生徒の状況についてのスクリーニング会議Ⅰを実施する。また、必要に応じて関係教職員、スクールカウンセラー、西成区こどもサポートネット関係者によるスクリーニング会議Ⅱを学期に1回は実施する。 ・年間30日以上欠席した児童生徒の人数を前年度よりも減少させる。 ・年間30日以上欠席した児童生徒に対応するための校内体制の構築を図る。 	B

取組内容②【1 安全・安心な教育の推進】

小中学校の連携強化を図ることで、児童生徒の安心感の伸長に努める。

指標

- ・小中合同行事を年間 15 回以上行い、小中学校の連携強化を図り、令和 7 年度の児童生徒アンケート「いろいろな学年と交流するのは楽しい」の項目について、肯定的に答える児童生徒の割合を、小学校 86%、中学校 88%以上とする。

(令和 6 年度 小学校 85.7% 中学校 87.7%)

B

取組内容③【2 豊かな心の育成】

人権教育や道徳教育のカリキュラムを作成し、計画的に学習を実施する。また、文化的行事や体験活動を通して自己肯定感の向上を図る。

指標

- ・人権学習や道徳の年間指導計画をもとに、計画的に学習を実施する。
- ・令和 7 年度の児童生徒アンケートにおける「命や人権の大切さやルールについて学ぶ機会がある。」の項目について、肯定的に答える児童生徒の割合を小学校 94%、中学校 97%以上とする。

(令和 6 年度 小学校 93.5% 中学校 96.6%)

B

- ・令和 7 年度の児童生徒アンケートにおける「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を、小学校 82%、中学校 84%以上とする。

(令和 6 年度 小学校 81.6% 中学校 83.3%)

- ・様々な人権課題や近年の新たな人権の状況に応じて、教職員の研修会を年 1 回以上実施する。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①

- ・担任が中心となり、毎月児童・生徒の現状についてのスクリーニングシートを作成し、そのシートをもとに毎月のスクリーニング会議Ⅰを開き、指導内容や共通理解事項など情報を共有している。学期の終わりには全教職員で共通理解を図っている。
また、学期に 1 回、関係教職員、スクールカウンセラー、西成区こどもサポートネット関係者によるスクリーニング会議Ⅱを行っている。
- ・学期の初めには、担任を中心に、生徒一人ひとりに教育相談を実施している。その中で、生徒の悩みや相談事、生活面などの状況把握に努め、トラブルなどが掌握できた場合には、その解決に向けて取り組んでいる。
- ・スクールライフノートのアンケート機能を活用することで、月ごとにいじめアンケートを実施している。生徒から出た情報は担任が中心に聞き取りを行い、いじめの早期発見や未然防止につながっている。
- ・今年度 1 学期の不登校児童・生徒は、中学校 14 名・小学校名（昨年度中学校 19 名・小学校 4 名）である。担任や学年の教師、生活指導主事やサポーターなど様々な立場の大人が、長期欠席の生徒などに対して積極的に家庭訪問や家庭連絡などを行い、登校に向けての支援を行っている。
- ・令和 5 年度より学習ルームを開設し、不登校の児童・生徒一人ひとりに合わせた居場所づくりに取り組んでいる。また、教職員の時間割表の中に担当を振り分けるなど、不登校児童・生徒に対応するための校内体制を構築し、教職員の学習ルームに対する理解を

深めている。今後各学期ごとに、学習ルーム利用生徒に関する情報共有会議を開いていく。

- ・スクールカウンセラーと連携し、児童・生徒の居場所つくりに努めている。

取組内容②

- ・合同朝会2回、IMAMIYA スポーツフェスティバル（小中合同練習7回、本番1回）、始業式・終業式（3回）、小中合同プール（2回）、9年生が小学生に万博の情報をクイズ形式で伝えたり、夏休み中学生勉強会に小学校教員が参加したりと、積極的に小中連携に取り組んでいる。※9月現在
- ・これらの活動を通じて、令和7年度の児童生徒アンケート「いろいろな学年と交流するのは楽しい」の値が上がり、より良い人間形成が育成されるように努める。

取組内容③

- ・年度当初、人権教育及び道徳科において昨年度の取り組みを参考にして年間指導計画を作成した。それに基づいて各学年で学習を実施している。年度末に今年度の取組を振り返り来年度に活かせるようにする。
- ・児童生徒アンケートについては、未実施であるため評価ができない。（2学期末に実施予定。）
- ・教職員の人権意識を高めたり、人権教育活動に活かしたりするために、4月当初には教職員地域研修担当による教職員研修を実施した。また7月末に教職員向けの西成区地域フィールドワークを実施した。
- ・小学校では今年度11月に区の人権教育実践交流会の発表を予定している。発表までの計画を立て、それに沿って取組を進めている。
- ・学習発表会、どんぐり祭などの文化的行事や、各学年の学習に合わせた出前授業における体験活動を通して児童生徒の豊かな感性を育む取組を行っている。

次年度への改善点

(様式 2)

いまみや小中一貫校 大阪市立新今宮小学校・大阪市立今宮中学校
令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況												
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○令和 7 年度の児童生徒アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的な「思う」と答える児童・生徒の割合を小学校 90%、中学校 93% 以上にする。 (令和 6 年度 小学校 89.8% 中学校 92.4%)</p> <p>○小学校学力経年調査・中学校チャレンジテストにおける国語および算数・数学の平均正答率の対全国比・対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 (令和 6 年度</p> <table> <tr> <td>国語 小学校 4 年生 0.86</td> <td>小学校 5 年生 0.86</td> <td>小学校 6 年生 0.76</td> </tr> <tr> <td>算数 小学校 4 年生 0.96</td> <td>小学校 5 年生 0.89</td> <td>小学校 6 年生 0.88</td> </tr> <tr> <td>国語 中学校 1 年生 0.86</td> <td>中学校 2 年生 0.88</td> <td></td> </tr> <tr> <td>数学 中学校 1 年生 1.02</td> <td>中学校 2 年生 1.01</td> <td>)</td> </tr> </table> <p>○令和 7 年度の児童生徒アンケートにおける「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を答える児童・生徒の割合を小学校 75%、中学校 59% 以上にする。(令和 6 年度 小学校 74.0% 中学校 58.8%)</p>	国語 小学校 4 年生 0.86	小学校 5 年生 0.86	小学校 6 年生 0.76	算数 小学校 4 年生 0.96	小学校 5 年生 0.89	小学校 6 年生 0.88	国語 中学校 1 年生 0.86	中学校 2 年生 0.88		数学 中学校 1 年生 1.02	中学校 2 年生 1.01)	
国語 小学校 4 年生 0.86	小学校 5 年生 0.86	小学校 6 年生 0.76											
算数 小学校 4 年生 0.96	小学校 5 年生 0.89	小学校 6 年生 0.88											
国語 中学校 1 年生 0.86	中学校 2 年生 0.88												
数学 中学校 1 年生 1.02	中学校 2 年生 1.01)											

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況												
<p>取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習者用端末でドリル学習をするなどの取り組みを通して、個々の習熟度やニーズに応じた学力向上に取り組む。 ・グループ学習を活用し、主体的・対話的な授業づくりに努める ・少人数・習熟度別授業を活用し、基礎学力の定着を図る。 ・すべての児童・生徒が視写に取り組み、書く力の向上に努める。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 7 年度の児童生徒アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的な「思う」と答える児童・生徒の割合を小学校 90%、中学校 93% 以上にする。 (令和 6 年度 小学校 89.8% 中学校 92.4%) ・小学校学力経年調査・中学生チャレンジテストにおける国語および算数・数学の平均正答率の対全国比・対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 (令和 6 年度 <table> <tr> <td>国語 小学校 4 年生 0.86</td> <td>小学校 5 年生 0.86</td> <td>小学校 6 年生 0.76</td> </tr> <tr> <td>算数 小学校 4 年生 0.96</td> <td>小学校 5 年生 0.89</td> <td>小学校 6 年生 0.88</td> </tr> <tr> <td>国語 中学校 1 年生 0.86</td> <td>中学校 2 年生 0.88</td> <td></td> </tr> <tr> <td>数学 中学校 1 年生 1.02</td> <td>中学校 2 年生 1.01</td> <td>)</td> </tr> </table>	国語 小学校 4 年生 0.86	小学校 5 年生 0.86	小学校 6 年生 0.76	算数 小学校 4 年生 0.96	小学校 5 年生 0.89	小学校 6 年生 0.88	国語 中学校 1 年生 0.86	中学校 2 年生 0.88		数学 中学校 1 年生 1.02	中学校 2 年生 1.01)	B
国語 小学校 4 年生 0.86	小学校 5 年生 0.86	小学校 6 年生 0.76											
算数 小学校 4 年生 0.96	小学校 5 年生 0.89	小学校 6 年生 0.88											
国語 中学校 1 年生 0.86	中学校 2 年生 0.88												
数学 中学校 1 年生 1.02	中学校 2 年生 1.01)											

<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度小学校学力経年調査における国語科記述問題の無答率を令和6年度より減少させる。 (令和6年度 小学校3年 15.1% 小学校4年 13.3% 小学校5年生 16.7%) 	
<p>取組内容②【5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動部の活動の活性化やなわとび集会・かけ足集会や体育的行事などでの取り組みを充実させ、運動に親しむ機会を増やす。 ・小学校健康委員会や中学校健康給食委員会を中心に、「健康に気をつけて生活をする」ことの大切さについて、日常的に呼びかける。 	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝学習、学級活動、授業の隙間時間に学習者用端末を使って個に応じた学習を進めている。また、授業では、発表ノートやパワーポイント・グーグルクラスルームを活用して調べ学習や発表をしたり、Teamsを活用して学習資料の配付や提出を行ったりするなど、ICT等を積極的に活用した授業づくりを進めている。 ・授業実態に応じてペアやグループで話し合い活動を行い、お互いの考えを交流する時間を設けている。また、少人数・習熟度別授業を行い、基礎学力の定着を図っている。 ・小学校・中学校ともに朝学習では視写を行い、自分で設定した目標に向けて集中して文字を書くことに取り組んでいる。回数を重ねるごとに1分間あたりの文字数の伸びがみられ、以前より書くことに慣れてきた児童生徒が増えた。今後も継続することで、集中力も高めていきたい。 	

<p>取組内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「運動に親しむ機会」について 昨年度に引き続き、小学生の運動部への参加もあり、専門的な技術や基礎体力の向上するよい機会となっている。 小学校では、低学年と中学年の体育の授業において、中学校の体育科が専門性を生かしながら補助的な役割を担い、授業の活性化を図っている。1学期の学習単元は主に「陸上領域」「水泳領域」であったが、児童の学習意欲も高まり、体力や技能面においても向上が見られた。また、中学校においても技能面を重視した授業実践が行われ、各自が記録向上に向けた学習を行ってきた。このことは、時間短縮を図りながら半日開催した「IMAMIYA スポーツフェスティバル」にも大きな効果をもたらし、徒競走やリレーなどの競技に意欲的に取り組みながら運動に親しむ姿が見られた。また、競技の練習段階においても、学年の枠を超えた交流を図ることができ、体力の向上とともに小中の連携にもつながっている。さらに、今年度もプール学習においても小中連携を図り、合同プールも実施した。 ・「健康に気をつけて生活する」に関して 年間を通して、中学校では生活委員「生活点検」を、小学校では健康委員会が「清潔検査」を毎週1回実施し、ハンカチ・ティッシュの携帯や爪の伸びを点検及び調査している。そして、点検及び調査した結果を報告及び掲示をしたり、学年集会及び児童朝会 	
--	--

などで指導及び支援をしたりしている。

児童・生徒に対する「健康に気をつけて生活する」ことへの意識を高める活動については、2学期に入って間もなく、「生活リズムチェック」を実施した。夏休みに入ってから乱れがちになっている起床及び就寝時間、朝食の摂取などを自己点検し、自ら生活を見直す機会を作った。

次年度への改善点

(様式 2)

いまみや小中一貫校 大阪市立新今宮小学校・大阪市立今宮中学校
令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○授業日において、児童生徒の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上とする。</p> <p>（令和 6 年度 小学校 0.6% 中学校 2.3% ※委員会が 3 月に出す資料より）</p> <p>○第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1（時間外勤務が 1 か月 45 時間を超えない）を満たす教職員の割合を小学校 80%、中学校 44%以上とする。</p> <p>（令和 6 年度 小学校 79%、中学校 43%）</p> <p>○令和 7 年度の保護者アンケート「学校は、教育方針や学校の様子をわかりやすく伝えている」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を 95%以上とする。</p> <p>（令和 6 年度 94.4%）</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【6 教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>毎日の教育活動で電子黒板やタブレット等、ＩＣＴを活用し、自分の考えをまとめ、説明できる力を高める。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業日における学習者用端末の活用状況（月平均）が令和 6 年度を超えるようにする。 ・令和 7 年度の児童生徒アンケート「日々の授業の中で学習者用端末を活用して、学習している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える割合を小学校 32%、中学校 28% 以上とする。 <p>（令和 6 年度 小学校 31.8% 中学校 27.8%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間計画を作成し、教職員対象の I C T や情報モラルの実践研修会を開催する。 <p>取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりの日や学校閉庁日の設定、校務負担の均等化や仕事の効率化の推進、プレイヤーズファーストの徹底等により、教職員の長時間勤務減少に取組む。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1（時間外勤務が 1 か月 45 時間を超えない）を満たす教職員の割合を小学校 80%、中学校 44%以上とする。 <p>（令和 6 年度 小学校 79.2%、中学校 43.3%）</p>	A
	B

取組内容③【9 家庭・地域と連携・協働した教育の推進】

- ・学校ホームページの発信、学級だより・学年だより・学校だより等を積極的に発行し、学校からの情報発信に努める。

指標

- ・令和7年度の保護者アンケート「学校は、教育方針や学校の様子をわかりやすく伝えている」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を95%以上とする。
(令和6年度 94.4%)

B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①

- ・授業日における学習者用端末（以下、端末）の活用状況（月平均）は、5月～7月平均で小学校70.5%中学校62.2%と令和6年度を大きく上回っている状況である。これは「心の天気」の継続的な実施や昨年度末のメンターを中心とした「Canva」実践研修会により、今年度様々な機会における端末活用が進んでいると考えられる。
- ・研究部を中心として「主体的・対話的で深い学びを実現できる授業づくり」をテーマに、端末を活用した授業研究に取り組んでいる。小学校においては、体育科を研究対象教科と位置づけ、教員全員が研究授業に取り組むとともに相互参観・研究討議を行い、授業力向上を図っている。中学校においては、教員が一人1回以上の研究授業に取り組み、相互参観を促進している。また、10月には代表者による研究授業および研究討議、研修会を実施し、学校全体で授業改善に取り組む機会を設けている。

取組内容②

- ・ゆとりの日を週ごとに1日設定している。
- ・学校閉学日を夏季休業中に4日設定した。冬季休業中は2日設定する予定である。
- ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合は小学校82.1%、中学校36.7%（8月末時点）である。前年度同時期の比較において、小学校はほぼ横ばいであるが、中学校は前年度の同時期よりやや増加している。今後、減少するように業務の分散化等に取り組んでいく。

取組内容③

- ・保護者アンケートについては、2学期に実施予定である。
- ・9月29日現在で学校ホームページの投稿数616件に、アクセス数は25,704件に達している。紙面でも校長室より、学級だより、学年だより、学校だよりや保健だよりや食育つうしん、給食だより、栄養だより、国際クラブ活動だより等で情報発信もしており、9月29日現在総数124部発行している。昨年度の同時期比べ、大きく増加している。（令和6年度91部）しかし、諸事情により、児童生徒の活動風景の撮影が制限されているため、情報発信のこれまで以上の増加や活性化は難しい状況もある。

次年度への改善点